



PRESS MINSHU

2011年春  
号外

民主党広報・宣伝委員会  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp

お問い合わせ・購読申し込み等は  
民主党広報または、こちらまで

民主党福岡県第4区総支部内  
〒811-3217 福津市中央 1-7-18 第6山田ビル  
tel.0940-34-3281 fax.0940-34-3282  
e-mail:koga-takaaki-minshu@circus.ocn.ne.jp  
http://www.koga-takaaki-minshu.com

# 県政刷新

30歳 古賀出身 ふるさとのために—

た な べ

## 田辺かずき

福岡県議会議員選挙

古賀市選挙区の候補に決定!!

### あなたの声を政治に活かします

ふるさとの古賀から県政を変えます。

新聞記者の経験を活かし、子育て支援をはじめ、  
教育、医療、福祉の充実に努め、  
雇用拡大、農業支援、地方分権改革に取り組みます。  
世界都市・福岡を目指します。

いまの県議会は市民の感覚が欠けています。

政務調査費を飲み食いやパーティー券などといった  
「自分たちのため」に使い、政策は作らない怠慢ぶり。  
私たちの「声」が届かない議会を、徹底して改革します。

### 古賀は僕のふるさどです。

MY HOMETOWN



タケノコを掘り、ツクシをとり、アジサイの葉に乗るカタツムリをずっと見ていた。田んぼのカエルの鳴き声を聞きながら眠り、タヌキを餌付けした。川のせせらぎを聞きながら、ホテルの光に目を奪われた。ザリガニを釣った。田んぼに自転車ごと突っ込んだ。秋の林で栗を拾った。校庭や公園で、雪だるまをつくった。初日の出を、鹿部山の頂上で待った。

友だちと遊び、祖父母や両親、妹と暮らした、このまちの風景です。

高校生のとき、古賀は「町」から「市」になりました。人口もどんどん増えました。博多に近い、住むのもってこの場所。なのに、「古賀は何もないまち」という声を聞きます。山の緑、海の青、そこに映える夕陽。地域の伝統行事も明るく息づいている。大学や仕事で、東京、大阪に暮らした私は、魅力にあふれた古賀の豊かさをあらためて感じています。

それぞれの魅力をひとつにつないだら、このまちの暮らしの「彩り」をもっと豊かにできる。このまちは変わる。そう確信します。このまちを、ひとつにしたい。

夏、3歳の息子と花見の海岸を歩きました。息子はびしょびしょになって、はしゃいでいました。

このまちの子どもたちが、このまちに育ってよかった、いつか帰ってきたい—。そう思える古賀をつくりたい。

日本中に、日々の生活で困っている人がたくさんいます。  
けれど、いまの政治や行政は、助けてくれません。

新聞記者として取材をする中で、

**私たちの「声」が政治家に届いていない、と実感しました。**

そして、これからは国に頼らず、地方が主役となり、私たちの力で  
私たちの住む地域を発展させていくこととなります。

いまの都道府県議会は、その自覚にとぼしい。



**私は、政治に見放されてしまったみなさんの「声」を聞き、政治に活かします。**

## こんな仕事を してきました

- ・盲導犬の入店拒否事件を告発
- ・バス事故から規制緩和の悲劇を追跡
- ・商店主が仕掛けるまちの復興
- ・放火被害にあった野宿者の思い
- ・「子どもの貧困」の実態を調査
- ・大阪府の橋下徹知事に密着
- ・脳性まひの子を育てる母の願い
- ・地震や豪雨の要援護者支援のあり方
- ・政府の地方分権改革の動き ...など

## 政策 基本理念

**政治の目的は、あらゆる立場の人の生活の場における「平和と安定」です。**

- 教育、医療、福祉の充実は、これからの「公共」の最重点課題。**  
待機児童対策をはじめ、子育てを支援します。子どもの学力、体力を向上させます。
- 高齢な方、障がいのある方が、地域の中で当たり前のように生きていける社会をつくります。**  
世代間交流を進め、コミュニティの再生を支援します。
- アジアの都市間競争に負けない福岡を。**  
国に税減免など経済特区の実現を強く求め、企業誘致、観光の魅力アップに努めます。  
農業のブランド力の強化、発信を支援します。
- 自分のため、特定の業界のためだけに動く政治家は許しません。**  
政策条例を作らない県議会の古い体質を改革し、まずは議会基本条例を制定します。
- 古賀市「発」、福岡県へ。**  
「教育と福祉の連携」をはじめとする、全国でも先駆的な古賀市の取り組みを誇り、県内全域に広めます。
- 地方でできることは地方で！**  
地方分権を推進し、国に権限の移譲を求め、福岡の地域の実情にあったルール作りを実現します。
- 子どもが誇りの持てる、いつか帰ってきたくなる「ふるさと」をつくります。**



## ここが僕のふるさと たなべ かずき 田辺 一城 プロフィール

1980年 5月16日生(30歳)  
出身 福岡県古賀市  
家族 妻と一男一女

### 学歴・職歴

1987年 / 暁の星幼稚園 卒園  
1993年 / 花鶴小学校 卒業  
1996年 / 古賀中学校 卒業

1999年 / 福岡県立福岡高校 卒業  
2003年 / 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業  
毎日新聞社 入社/福井支局 配属  
2006年 / 大阪本社社会部 配属  
橋下徹・大阪府知事、大阪府警などを担当  
2010年 / 11月 政治活動に伴い休職  
12月 民主党福岡県第4区総支部副代表

子ども時代に古賀で学ばせていただいたこと — 第2回・古賀町少年の船 \* 古賀子ども劇場 \* 古賀中生徒会長

田辺かずき 後援会事務所

〒811-3117 福岡県古賀市今の庄1丁目5-36

Tel&Fax 092-692-8510

メール challenge@tanabe-kazuki.jp

ホームページ http://www.tanabe-kazuki.jp

ブログ http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/